

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

|  |  |      |  |    |     |      |      |
|--|--|------|--|----|-----|------|------|
| 市町村名   | 美濃市  | 学校名  | 美濃市立中有知小学校   |    |     |      |      |
| 校長名  | 中島玲子   | 対象学年 | 全校   | 人数 | 237 | 人    |      |
| 活動名  | 地域とかかわる体験活動  |      | 時間数  | 35 | 時間  | 継続年数 | 約20年 |
| 題材   | ① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他）<br>② 歴史（出来事・史跡・先人・その他）<br>③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他）<br>④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他）<br>⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等<br>⑥ その他（ ）                           |      | [前平山 蛍]<br>[曾代用水]<br>[<br>]<br>[米・大根など]<br>[学ぶ会]<br>[<br>] |    |     |      |      |
| 複数年継続するための工夫改善   | ・「美濃市21世紀活性化塾（農業指導や特産品開発をする農業団体）」や「美濃市自然を愛する会」などと連携を図ることで、指導者や道具の確保、さらには体験活動の場の準備など、円滑に行い、結びつきを強めることができた。<br>・学校便りや市の広報などを活用して取組を紹介することで、より多くの協力者を募ることができるようにした。 |      |  |    |     |      |      |
| <p>1 ねらい<br/>                 地域を愛する心を育み、地域の人から学ぶことで、人と関わる喜びを感じ、自分の郷土と生き方について考える。</p> <p>2 活動の概要<br/>                 中有知小学校では「一人一人に居場所と出番がある学校」をめざして、地域の人、地域の自然や歴史、地域の産業にふれる中で、地域のよさを学び、自らの生き方を考える農業体験・自然や歴史の体験など様々な体験に力を入れている。<br/>                 (1) 農業体験<br/> <input type="checkbox"/>ねらい：中有知地区で盛んな農業について地域の方から作り方や工夫を学ぶ活動を通して、郷土のよさを学ぶとともに、郷土を守り、郷土を大切にするとともにふるさと愛する心を育てる。（指導者：「美濃市21世紀活性化塾」「中濃農林事務所」など）<br/> <input type="checkbox"/>概要<br/>                 1年生：とうもろこしの栽培体験 苗植え（4月）・収穫（6月）<br/>                 2年生：じゃがいもの栽培体験 種芋植え（1年生時2月）・収穫（6月）<br/>                 3年生：大根作り・販売体験 種まき（9月）・収穫（11月）・道の駅での販売（11月）<br/>                 5年生：米作り体験 米作り講話（4月）・田植え（5月）・稲刈り（10月）<br/>                 (2) 自然や歴史の体験<br/> <input type="checkbox"/>ねらい：中有知地区の自然環境や歴史について学び、中有知地区を愛し、自然や伝統を守ろうとする心を育てる。（指導者：「美濃市自然を愛する会」「中有知を語る会」など）<br/> <input type="checkbox"/>概要<br/>                 3年生：前平山登山体験 山頂から中有知地区の様子（土地利用）を確認（5月）<br/>                 4年生：蛍の取組 蛍講話・カワゲラウォッチング（5月）・蛍幼虫の孵化（6月）・放流（3月）<br/>                 4年生：曾代用水の見学 今も使われ続ける世界に誇る遺産の学習（10月）<br/>                 6年生：中有知の歴史 「中有知の歩み、中有知小の歴史、中有知を語る会の歩み」の話（6月）</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子<br/>                 地域の方に児童と触れ合うことのできる取組を提案することで、高齢者の方のシニアクラブやサークル活動等の活性化につながっている。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容<br/>                 児童がふるさと中有知の自然や農業とふれあい、その大切さを肌で感じ考えることができている。地域の方と共に活動し、地域の方の人柄に触れ、さまざまなことを学ぶことによって児童からあいさつをしたり声をかけたりする姿も増えた。こうした体験がふるさと中有知への愛着を育てている。</p> |  |      |  |    |     |      |      |

